

## 「中央実験施設セミナー」を開催

2022年6月13日

6月10日（金）、金沢大学がん進展制御研究所 4F 会議室において、京都大学大学院医学系研究科メディカルイノベーションセンター 健康加齢医学講座 森真弓先生をお招きして、中央実験施設セミナーを開催しました。

セミナーでは、「T細胞の生存シグナル」という演題で、末梢ナイーブT細胞の生存には、コロニン1依存性のPI3K $\delta$ 経路のシグナル伝達が不可欠であることを明らかにした最新の研究成果についてご講演頂きました。がん免疫の研究にも有用な知見を共有する、大変有意義なセミナーとなりました。

十分な感染対策のもと対面形式で行われたセミナーには、教職員、大学院生等23名が参加し、活発な質疑応答や意見交換が行われました。（報告 遠藤）



中央実験施設セミナー

# 『T細胞の生存シグナル』

京都大学大学院医学系研究科

メディカルイノベーションセンター(MIC)

健康加齢医学講座

特定講師 森 真弓先生



【日時】 2022年6月10日(金) 17:00~18:00

【場所】 がん進展制御研究所 4F 会議室

ナイーブT細胞は胸腺から産生された後、リンパ節などにとどまり、抗原に出会って活性化される前の状態で非常に長生きします。その生存と細胞死の制御において、coronin-1分子がPI3Kδの恒常的なシグナル活性化に必要であることを見出しました。これまで演者がバーゼル大学から発表した研究内容を中心にご紹介いたします。

*Science Signaling* (Mori, M., *et al.*, 2021)

*J Immunol* (Lang, M.J., Mori, M., *et al.*, 2018)

皆様、ふるってご出席、ご質問いただきますようお願いいたします。

連絡先：中央実験施設 遠藤 良夫 076-264-6775